

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成すること目的とする。

- 一、よく考えずんで学ぶこども
- 一、明るく思いやりのあるこども
- 一、きまりを守り責任を果すこども
- 一、心身ともにたくましいこども

多くの児童が学校図書館を利用し、読書する楽しさや調べ学習において知識を増やす楽しさを知ってほしい。

学校図書館の目標

- ・読書の楽しさや喜びを味わわせ、進んで本に親しもうとする態度を育てる。
- ・図書館の図書や資料を自分の目的に合わせて探したり、活用したりする能力を身につける。

ねらい

- ①読書活動を推進し、豊かな人間性を培う。
- ②多様な資料から目的に応じた情報を選び課題解決を図れるような情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ②学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。

各学年の重点目標

1年	2年	3年	4年	5年	6年
<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい読み物を選び、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ・学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を楽しみ、知識を得るために読み物を選び、楽しんで読書する態度を育てる。 ・学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能を身につけ、正しく利用する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ・進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しんで資料や情報を集め活用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ・課題や知りたい事柄について調べる手順がわかり適切な資料を見つける力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して広い視野を身につけるとともに豊かな心情を育てる。 ・積極的に学校図書館を利用する態度を養い計画的に資料や情報を集め適切に活用する能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ・学校図書館や図書館の資料を積極的に活用しようとする態度と目的に応じて処理する能力を育てる。

具体的な取り組み

各教科について

- 各教科の中での図書館学習を通して情報や知識を検索・収集・処理する能力を養い、基礎的な技術を養うとともに自ら学ぶ力を育成する。

読書科について

- 読み聞かせやおすすめの本探しなどの活動を通して、読書の楽しさを知り、読書の習慣化を図る。
- 図書資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

総合的な学習の時間について

- 課題の探究、解決に多様な資料を活用し様々な方法で取り組み、情報活用能力を伸ばす。

特別活動について

- 図書委員を中心に図書館を運営し、読書の推進を図る。
- 学級活動を通して、学校図書館の利用や情報の適切な活用能力を育てる。

道徳について

- 様々な資料を通して、自分の考えと違う人を尊重したり、進んで正しい判断を行ったりする態度を養う。

家庭・地域との連携について

- 学期に二回程度の保護者ボランティアによる読み聞かせの継続。
- 地域の図書館の団体貸出しなどを利用。

朝読書の推進

図書環境の整備・充実